

別記様式第 1

防 災 管 理 点 検 結 果 報 告 書					
① 令和〇年〇月〇日					
渋川広域消防本部 消防長 殿					
② 管理権原者					
住 所 〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号					
氏 名 株式会社〇〇 代表取締役 〇〇 〇〇					
電話番号 000-0000-0000					
下記のとおり防災管理対象物の防災管理点検を実施したので、消防法第36条第1項において準用する同法第8条の2の2第1項の規定に基づき報告します。					
記					
防 災 管 理 対 象 物	所 在 地	③ 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番地			
	名 称	④ 〇〇店舗			
	複数権原の場合に 管理権原に属する 部分の名称	⑤			
	用 途※1	⑥ 物品販売店舗		令別表第1 ※1	⑦ (4) 項
	構 造・規 模	⑧ 鉄骨 造 地上 2 階 地下 階 床面積 〇〇, 〇〇〇. 〇〇㎡ 延べ面積 〇〇, 〇〇〇. 〇〇㎡			
点 検 実 施 日		⑨ 令和〇年〇月〇日			
点 検 者	住 所	⑩ 〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号 電話番号 000-000-0000 (〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号) (電話番号 000-000-0000)			
	氏 名	⑪ 〇〇 〇〇 (〇〇防災株式会社)			
	免 状 ⑫	講 習 機 関 名	免状交付年月日	免状交付番号	有効期限
		日本消防設備安全センター	〇年〇月〇日	第〇〇〇〇号	〇年〇月〇日
受 付 欄※2		経 過 欄※2		備 考	

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
2 ※1 欄は、複数権原の場合にあつては管理権原に属する部分の情報を記入すること。
3 ※2 欄は、記入しないこと。

防災管理点検結果報告書 記入要領

項 目		記 入 要 領
① 年月日		1 消防署への届出年月日（郵送の場合は、投函日）を記入します。 2 郵送の場合は、切手を貼り付けた返信用封筒を同封してください。
② 管理権原者		1 防災管理対象物の管理について権原を有する者の住所、氏名、電話番号を記入します。 2 法人の場合は、法人の住所（本店所在地）、法人の名称、代表者の職・氏名、電話番号を記入します。 3 個人企業の場合は、個人の住所（現住所）、氏名、電話番号を記入します。
防 災 管 理 対 象 物	③ 所在地	点検を実施した防災管理対象物の所在地を記入します。
	④ 名称	1 点検を実施した防災管理対象物の名称を記入します。 2 敷地内に点検対象となる防災管理対象物が複数棟ある場合は、延べ面積が最も大きい防災管理対象物の名称を記入します。
	⑤ 複数権原の場合に管理権原に属する部分の名称	点検対象の防災管理対象物全体について管理権原が分かれている場合は、届出者の事業所等の名称を記入します。
	⑥ 用途	防災管理対象物の用途を令別表第Ⅰに掲げる用途等から選択して記入します。
	⑦ 令別表第Ⅰ	1 ⑥の欄に記載した防災管理対象物の用途を令別表第Ⅰに掲げる項区分から選択して記入します。 2 防災管理対象物の管理権原が複数分かれている場合は、届出をする事業所の用途を記入します。
	⑧ 構造・規模	1 前⑥に記入した防災管理対象物の「構造」、「建物階数」、「床面積」、「延べ面積」を記入します。 2 「床面積」は、各階において、最大となる階の床面積を記入します。 3 「延べ面積」は、各階の床面積の合計を記入します。
⑨ 点検実施日		1 点検を実施した日を記入します。 2 点検が複数日に及ぶ場合は、当該点検開始した日と終了した日を記入します。 （例）令和〇年〇月〇日 ～ 令和〇年〇月〇日
点 検 者	⑩ 住所	1 点検を実施した防災管理点検資格者の現住所及び電話番号を記入します。 2 防災管理点検資格者が法人等に属する場合は、括弧書きで当該法人等の所在地及び電話番号を併記します。
	⑪ 氏名	1 点検を実施した防災管理点検資格者の氏名を記入します。 2 防災管理点検資格者が法人等に属する場合は、括弧書きで当該法人等の名称を併記します。 ※複数の防災管理点検資格者により点検を実施した場合は、当該点検資格者の中から代表者の氏名を記入します
	⑫ 免状	「講習機関名」、「免状交付年月日」、「免状交付番号」、「有効期限」は、防災管理点検資格者の免状に記載されている事項を記入します。

備考 1 「令」…消防法施行令

2 消防法令に規定する防災管理点検票を添付してください。

3 防災管理点検は、点検資格を有する者でなければ実施できません。

4 届出書類は、2部提出してください。

5 記入方法が分からない箇所は、届出する際に職員へ申し出てから記入してください。